

伊東市 観光ブランドブック

ITO-CITY TOURISM BRAND BOOK

紹介リーフレット

伊東市観光課
伊東市ブランド研究会



伊東の観光ブランドのロゴが 決まりました！

伊東市ブランド研究会は、多様な魅力を持つ伊東市を象徴するものは何だろうと話し合ってきました。

伊東市の「宇佐美地区・伊東市街地地区・南部地区」はそれぞれ異なる魅力がありますが、共通で持っているシンボルは、毎朝、相模灘から昇つてくる太陽です。

伊東市に住む人々が3万年もの時間の流れで共通で持ってきたシンボルであり、最大の恩恵であり、宝物です。

その朝日をモチーフに、これから伊東の観光のシンボルとしてロゴを作りました。

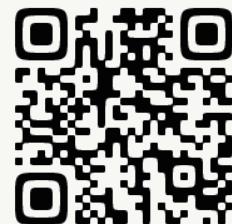
このロゴは、これから伊東の観光の魅力を、世界中の人々に発信する時に使われていきます。



伊東市観光ブランドブック Web 版はこちらから→

Web で伊東市観光ブランドブックを見るることができます。
サイトから PDF をダウンロードして保存することもできます。

伊東市観光ブランドブック 伊東市観光課 伊東市ブランド研究会
〒414-8555 静岡県伊東市大原二丁目1番1号 TEL:0557-36-0111 (代表)



itocity-tourism-brandbook.info

伊東を掘りおこそう！

知れば知るほど好きになる。語りたくなる。
伊東はまだまだ魅力いっぱい。

「伊東市観光ブランドブック」とは、伊東市ブランド研究会が掘り起こした
まだまだ知られていない伊東の魅力や、時層の中に埋もれてしまった宝物を
紹介した、これから伊東の観光を考えるための本です。

伊東市はそれ自体が広大なミュージアム、
暮らす人は全員キュレイター（学芸員）。

みんなで「伊東が好き！」をもっと発信しよう。

言葉から、身体から、伊東の魅力を訪れた人に伝えよう。

あなたの一言で「伊東っていいところなんだ！」という気持ち
が旅人にインプットされて、次の旅人をよびこみます。

伊東の街をもっと元気にするために、

住んでいるこの場所の魅力を再発見してみませんか？



Q1. 川奈の岩の上に立つあの像は誰？



日蓮聖人の像が川奈の海に立つ岩の上にあるのをご存知でしょうか。日蓮聖人は日蓮宗の開祖。幕府に追われ伊東に流された日蓮の足跡は、伊東の各所に遺されています。今でもゆかりの地を巡礼する人が多くいます。

▶詳しくはブランドブック 22 ページへ。



Q2. あなたの隣の「伊東さん」も ルーツは伊東です！

伊東祐親は平安時代の武将であり、現在の伊東市周辺の豪族でした。

伊東家は全国に子孫があり「伊東」の名字を持つ人のルーツはすべて伊東の地であるとされています。

▶詳しくはブランドブック 23 ページへ。

Q3. 戦禍にも耐えた 江戸城の石垣の9割は伊豆の石



伊豆石は伊豆半島で産出される良質な石で、特に安山岩系の硬い石は城壁などに利用されてきました。

現在、皇居の隣にその姿を残す江戸城の石垣は、その9割が伊東をはじめとする伊豆半島から産出された伊豆石です。誰が、どうやって運んだのでしょうか？

▶詳しくはブランドブック 28 ページへ。

Q5. 世界中の名ゴルフ場100選に 毎年ランクインする ゴルフコースはどこにある？



川奈ホテルのゴルフコースは、大島コースと富士コースの2つがあり、富士コースは日本を代表する名コースとして知られています。世界のトップ100コースにはいつも名を連ねるほど有名です。

▶詳しくはブランドブック 32 ページへ。

この他にもたくさんの伊東の魅力が載っています。ぜひ「伊東市観光ブランドブック」をご覧ください。

Q4. えっ、ホント？ 将軍様に伊東の温泉が 樽で運ばれた？！



江戸時代の温泉番付表
熱海市立図書館所蔵

徳川家光（三代将軍）のもとに、樽詰めされた伊東の温泉の湯が運ばれたことがあります。

ようじゅいんみょうしょう につしんたいし

徳川家康の側室だった養珠院妙紹日心大姉が、献上したものといわれています。さすが将軍様！ と思いきや、時代が下がると江戸庶民も伊東各地から樽詰め温泉を取り寄せ楽しんだそうです。

▶詳しくはブランドブック 30 ページへ。

Q6. 縄文杉と同じ大きさの木が あるって知っていましたか？



葛見神社の大クスは胸高幹周（地面から120cmの位置の幹の直径）が16m。両手を広げた長さが160cmの人間10人分の長さです。この大きさは日本最大の樹齢を誇る屋久島の縄文杉と同じくらいと言われています！

伊東市には他にも巨木がたくさんあります。

▶詳しくはブランドブック 45 ページへ。